

## 4 道徳科の授業づくり

若手教師「道徳の全体計画があると、見通しをもって指導できるし、様々な関連がわかっていいですね。」

ベテラン教師「そうだね。あとはその計画通りに実行するだけだ。」

若手教師「はい。そうですね。でも、そもそも道徳科の授業ってどんな授業なのでしょうね。」

### Q. 道徳科の授業とは、どんな授業なのだろうか？

#### (1) 道徳科の授業とは

##### 1 道徳教育の目標に基づいて行う

道徳教育が目指すものは、教育基本法第1条、第2条第1項から第5項に示された姿です。したがって、道徳科でも、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことが目標となります。

**「人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成」(第1条)**

##### 第1項

知識と教養，真理を求める態度  
豊かな情操と道徳心，健やかな身体

##### 第4項

生命を尊び，自然を大切にする態度  
環境の保全

##### 第2項

個人の価値の尊重，自主及び自律の精神  
職業及び生活との関連，勤労

##### 第3項

正義と責任，男女の平等，自他の敬愛と協力  
公共の精神，主体的に社会の形成に参画し，  
その発展に寄与する態度

##### 第5項

伝統と文化の尊重，我が国と郷土を愛する  
とともに，他国を尊重し，国際社会の平和  
と発展に寄与する態度



## (1) 道徳科の授業とは

### 2 道徳性を養うために行う

ベテラン教師「授業のビジョンが共有できると、一緒に授業を考える土台ができたように感じるなあ。」

若手教師「早速、授業づくりに取りかかりましょう！ では、道徳科の授業づくりに向けて、その教材は、どのように準備するとよいのでしょうか。」

## Q. 道徳科の教材準備は、どのような視点で行えばよいのだろうか？

### (2) 学習教材の活用

- ◆ 人間尊重の精神にかなうもの
- ◆ ねらいを達成するのにふさわしいもの
- ◆ 児童生徒の興味や関心、発達段階に応じたもの
- ◆ 多様な価値観が引き出され深く考えることができるもの
- ◆ 特定の価値観に偏らない中立的なもの

人間の弱さやもろさに向き合い、生きる喜びや勇気を与えられるもの

生と死の問題、先人が残した生き方の知恵など人間としてよりよく生きることの意味を深く考えさせるもの

悩みや葛藤などの心の揺れ、人間関係の理解などの課題について深く考えられるもの

体験活動や日常生活などを振り返り、道徳的価値の意義や大切さを考えることができるもの





若手教師「色々なものが教材として考えられるんですね。」

ベテラン教師「そうだね。何をどのように指導したいかという教師の思いと子どもたちの興味・関心とがぴったりと合うものを見つけられるといいね。」

若手教師「はい！ 教材は用意できたけど、どのように指導案って考えたらいいんでしょう。他教科と同じような形式なのでしょうか。」

## Q. 道徳科の学習指導案はどう書けばよいのか？

- A. 道徳科の学習指導案は、年間指導計画に基づいた内容項目を指導するために、思考を整理したり重点としたい学習活動を明確にしたりすることを目的として作成します。児童生徒や学年・学級の実態を踏まえ、作成するとよいでしょう。

### (3) 学習指導案

大まかに、以下のような内容を記載すると指導者の意図がよく分かるようになります。

1 主題名・内容項目

年間指導計画に基づいた主題名，内容項目を記述します。

2 ねらいと教材

3 教材について

主題や内容項目と照らし合わせながら，本時のねらいを明確にします。

(1) ねらいとする価値

(2) 児童生徒の実態

(3) 教材の特性

ねらいとする価値を具体的におさえ，明確な指導観をもちます。

4 学習指導過程

教師の指導や発問，児童生徒の思考や活動を記述します。指導上の留意点や支援の在り方についても記述します。

5 評価

内容項目に即して期待する児童生徒の姿を記述します。

6 その他

板書計画，他教科の関連，家庭や地域との連携，外部講師の活用などについて，学習の特質に応じて記述します。

道徳科でも、他教科の学習と同様に「導入⇒展開⇒終末」という3段階で指導します。

#### (4) 基本的な学習指導過程

##### 導入

- ・ 主題に対する児童生徒の興味・関心を高め、ねらいとする価値への方向付けを行います。

資料提示の工夫

##### 展開

- ・ 主題のねらいを達成するための中心となる段階です。
- ・ 中心的な教材の活用によって、児童生徒の道徳的価値について自覚を深めます。

発問の工夫  
板書の工夫  
言語活動の工夫

##### 終末

- ・ ねらいとしていた道徳的価値に対する思いや考えをまとめます。
- ・ 教師の説話などを聞いて、道徳的価値への思いをあたためます。

説話の工夫  
「私たちの道徳」の活用

## ①導入の工夫

導入では、主題に対する児童生徒の興味・関心を高め、ねらいとする価値への方向付けを行います。

### 資料提示の工夫

児童生徒に学ぶ目的意識、必要感をもたせることが大切です。

### 【ポイント】

- ・教材と自分たちの生活の結び付きを考えさせる。
- ・なぜ学習するのかの動機付けをする。

そのねらいに向けて、以下のような方法が考えられます。

### ①身近な話題の提示

### ②自分の経験を尋ねる



### ③実物や写真、図、動画の提示

そして、展開に向けて児童生徒へ教師が働きかけることにより、問題意識を高めます。

#### ◆行為と心情の比較

⇒ 「頭では理解しているけれど、行動が伴わない」理由を考えさせる。

#### ◆視点の転換

⇒ 自分の行動は同じでも、状況が異なるとどう感じられるのかを考えさせる。

#### ◆理想やよりよい自分との比較

⇒ 理想へ近づこうとする気持ちや自分ができている道徳的行為をふり返らせる。

## ②展開の工夫

展開は、主題のねらいを達成するための中心となる段階であり、中心的な教材によって、児童生徒一人一人が、ねらいの根底にある道徳的価値について自覚を深めます。

展開前半では、教材を使って道徳的価値を明らかにし、その価値に気付かせ、展開後半では、道徳的価値を自分のこととして考えさせる指導過程が多く見られます。

### 【ポイント】

- ・ 主題のねらいに迫らせる。
- ・ 児童生徒の思考や道徳的価値を整理する。
- ・ 自分自身を振り返らせる、自己と向き合わせる、思考を深めるなどの目的を意識する。

### 発問の工夫

児童生徒の意識の流れを予想し、流れに沿った発問や考える必然性のある発問、切実感のある発問を心がけることが大切です。

### 【発問構成の一例】

#### 中心発問

- ・ 授業のねらいに関わる中心的な役割



#### 補助発問

- ・ 中心発問を生かすための前後の発問

各教科の発問と同様、最も考えさせたい場面から逆算するような考え方で構成していかれる先生方が多いと思います。

ねらいとする価値に迫るために、使用する教材の構成、挿絵などをよく吟味し、特性を掴むことが大切です。

発問によって道徳的価値を明らかにするという目的意識や、児童生徒に何を考えさせるかという具体的な発問、指示、説明の検討も大切です。

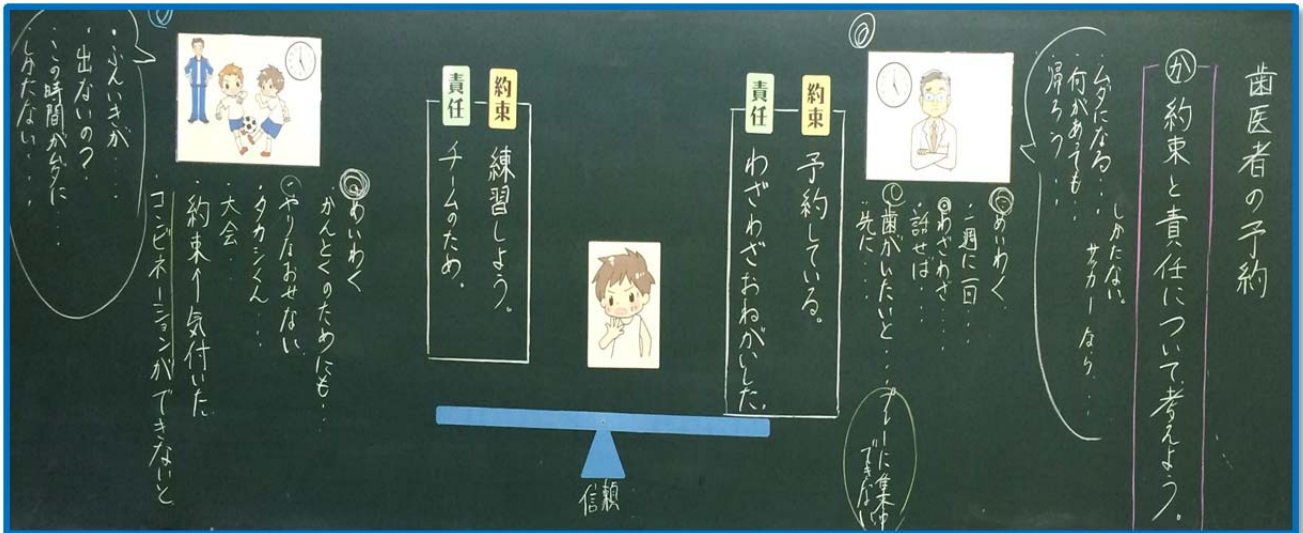




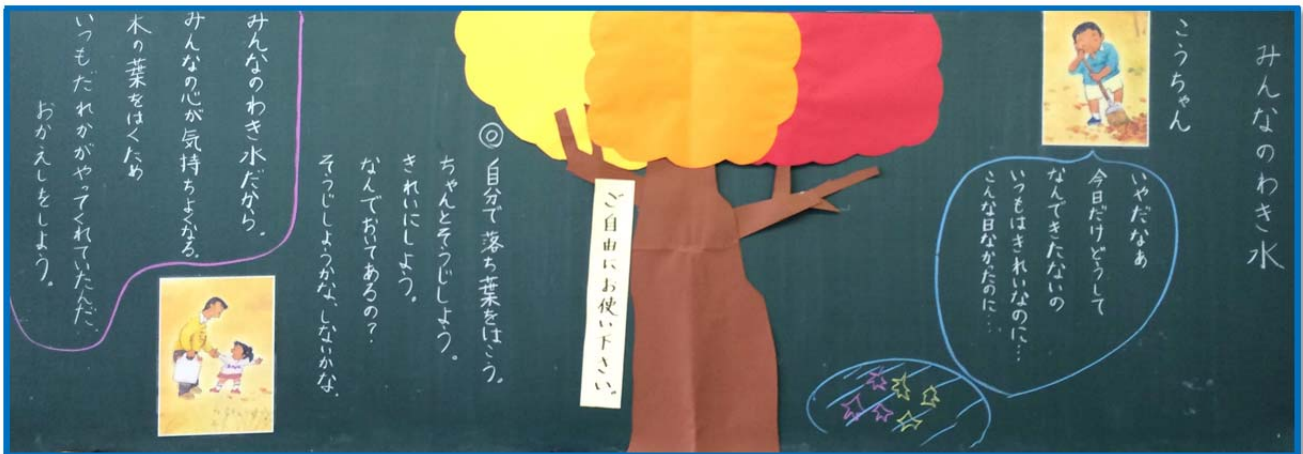
## 板書の工夫

板書は、児童生徒の思考の整理・促進のために有効です。教師の伝えたい内容へ児童生徒の意識を向ける、時間的な順序や構造などを示すなどの機能を意識して、構成することが大切です。

### ◆対比を生かした板書例



### ◆教材の流れに沿った板書例



## 板書のポイント

- ◆色分け～心情や人物などによって色分けをする。葛藤場面で対比させるときに有効である。
- ◆挿絵～拡大して使用し、状況を掴む、吹き出しをつけることなどに利用する。
- ◆掲示物～課題とまとめ、中心発問等に活用する。

## 言語活動の工夫

書くことや話し合うこと、動作化や役割演技などは、児童生徒の思考を促したり、深めたりするのに有効です。目的に応じて、多様な言語活動を取り入れることが大切です。

### ◆書く活動

児童生徒の考えを深めたり、整理したりする機会として、重要な活動です。



#### 【ポイント】

- ・書く時間をしっかりと確保する。
- ・何を考えさせ、何を書けばよいのかという目的を明確にする。
- ・書くこと自体が目的にならないよう、集団で思考する活動との関連も考えて設定する。

### ◆話し合い活動



#### 【ポイント】

- ・話し合う必然性や目的をはっきりさせる。  
例) 考えを聞いて比べる・考え方を広げる
- ・目的に応じて、ペアやグループなどの学習形態を工夫する。
- ・座席の配置や名札、役割などを工夫する。

### ◆表現活動（動作化・役割演技・プレゼンなど）



#### 【ポイント】

- ・児童生徒がのびのびと表現できる雰囲気をつくる。
- ・日常的に表現活動に慣れさせる。
- ・場面や上などの設定、学習の目的やねらい達成の見通しをもたせる。

### ③終末の工夫

終末では、ねらいの根底にある道徳的価値に対する思いや考えをまとめたり、温めたりして、今後の学校生活や日常に発展させていきます。

#### 【ポイント】

- ・本時をふり返って、道徳的価値に対する理解を深める。
- ・日常生活への実践意欲をもたせる。

#### 説話の工夫

説話は、ねらいの根底にある道徳的価値を児童生徒が一層主体的に考えられるようにしようとするものです。児童生徒の心情に訴え、深い感銘を与えられるように工夫することが大切です。

#### 【説話の素材】

- ・教師の体験談
- ・実践している児童生徒の姿
- ・ことわざや格言
- ・時事問題
- ・児童生徒の日常生活における身近な話題
- ・地域の自然や伝統文化に関すること
- ・いただいた手紙
- など



説話を話す時には、教室を落ち着かせることも大切です。そして、話す速さや抑揚、教師の表情などを意識すると、より一層児童生徒へ印象付けることができます。

「私たちの道徳」の活用

学習を通して考えたこと、新たに気付いたことなどを「私たちの道徳」の書き込み部分を活用し、学んだことを深く心にとどめたり、これからの自分について考えたりできるようにすることが大切です。

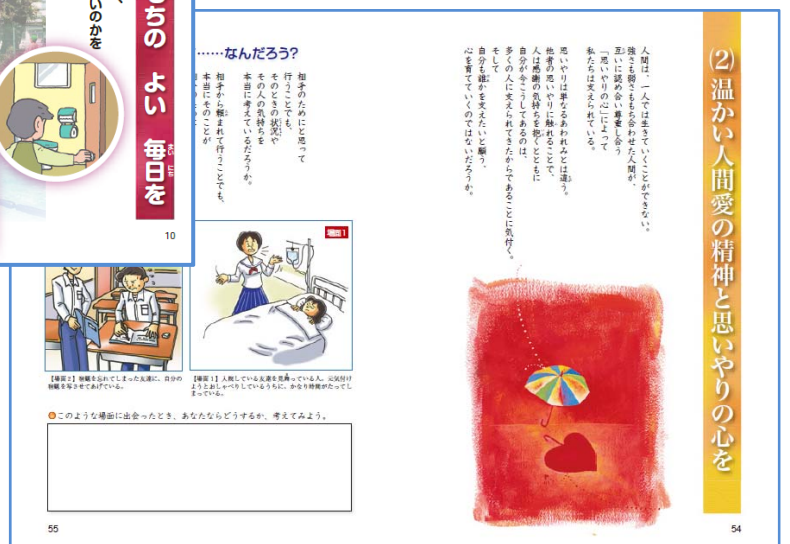
【「私たちの道徳」の活用場面】

- ・学習後の自分自身の振り返りを書く。
- ・私たちの道徳に記載されている偉人や伝統に関わる資料を読む。
- ・家庭に持ち帰って家族に書いてもらったコメントを読む。



【「私たちの道徳」小学校 1・2年 P10～11】

【「私たちの道徳」中学校 P54～55】



## (5) 実践事例（小学校編）

### 第○学年道徳科学習指導案

日 時 平成○○年 ○月 ○日 (○) ○校時  
児 童 ○○小学校 ○年○組  
男子○○名 女子○○名 計○○名  
指導者 教 諭 ○○ ○○

#### 1 主題名・内容項目

【主 題 名】最後までやり遂げようとする態度

【内容項目】A-5 希望と勇気，努力と強い意志

#### 2 ねらいと教材

【ね ら い】自分でやろうときめたことは粘り強くやり遂げようとする心情を養う。

【教 材 名】きっとできる（「私たちの道徳」3・4学年 P.26～29）

#### 3 教材について

##### (1) ねらいとする価値

自立した生活を送るためには、自分がやらなければならないことについて、粘り強く最後までやり遂げようとする態度が大切である。○年生という発達段階を考慮すると、自己の向上を図るための課題を最後までやり通そうとする心情を養うことが求められる。

##### (2) 児童の実態

本学級の児童は、自分で求めた目標を実現させようという意識も、最後まで頑張ってやり遂げようとする気持ちも強い。しかし、実際には心の弱さが原因で、今日やらなくても明日やれば良いという安易な方向へ流れたり、困難なことにぶつかると途中で投げ出してしまったりすることがある。

##### (3) 教材の特性

この資料は、シドニーオリンピックで日本人女性として初のマラソン金メダリストに輝いた高橋尚子選手の話である。高橋選手のオリンピック出場に至るまでの気持ちと共に、目標に向かって最後までやり遂げようとする思いが描かれている。

高橋選手が悩んでいた時の心情を、自分に置き換えて想像することで、実感を伴う学習を展開していきたい。そして、「高橋選手がどうして金メダリストになれたのか」を考えることで、様々な角度からねらいとする価値にせまりたい。

##### (4) 指導上の留意点

オリンピック出場、そして優勝に至るまでの高橋選手の努力の姿には、「大きな目標の達成に向かって、自分への挑戦を続け、小さな目標を一つ一つ達成していくことが大切だ」という信念がある。

こうした高橋選手の思いをしっかりと捉えた後、自分自身をふり返り、目標に向かって、自分はどのように生活していくのかを考えさせ、少しでも自分がやろうと決めたことをやり遂げようとする態度を実感できるようにしたい。

#### 4 本時の学習指導過程

	学習活動 (■) と予想される児童の反応 (・)	留意点 (□)
つかむ	<p>■ 自分には、どのような夢や目標があるか発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>みんなにはどんな夢や目標がありますか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロサッカー選手になりたい。</li> <li>・将来、パティシエになりたい。</li> </ul>	<p>□ねらいとする価値へ迫るための、自己の夢や目標について考えさせる。</p>
考える	<p>■ 「きっとできる」を読んで、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○高橋選手について知っていることをおさえる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・マラソン選手</li> <li>・オリンピックの金メダリスト</li> </ul> </li> <li>○自分の目標を決めようとした高橋選手の気持ちを考えよう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・走るのはめんどろだなあ。</li> <li>・もう走るのは嫌だなあ。</li> <li>・自分はどんな選手になりたいんだろう。</li> <li>・何を目標にしたらいいんだろう。</li> <li>・目標をしっかりと決めよう。</li> </ul> </li> <li>○高橋選手がその後、金メダリストになれた理由を考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・走ることがとても楽しく、好きだったから。</li> <li>・「がんばれば、きっとできる」という思いから。</li> <li>・走ることによって新しい出会いがあることに気づいたから。</li> <li>・周囲の応援があったから。</li> <li>・人と戦うんじゃない、自分の記録と戦うんだと思えたから。</li> <li>・一段ずつしっかりと登っていけば、上まで登りきれる。</li> </ul> </li> </ul>	<p>□高橋選手について知っていることを簡単におさえる。</p> <p>□高校生や大学生の頃の悩んでいた様子を、自分と照らし合わせて想像を膨らませる。</p> <p>□資料の中に沢山の手がかりがあるので、自分の興味・関心、周囲の存在、努力することの大切さ、自分の強い意志などを取り上げるようにする。</p>
見つめる	<p>■ 自分の夢や目標を達成するために、これからの生活について見つめ直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○途中でくじけてしまったことやその時の気持ちを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・水泳の練習で、いくらやっても上手にならないので諦めてしまった。</li> <li>・野球をやめてしまった。</li> </ul> </li> <li>○自分の夢や目標を達成するために、これからどのように生活していきたいかを考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロサッカー選手になるために、毎日の練習を頑張りたい。</li> </ul> </li> </ul>	<p>□共感的な腑に気の中で発言できるようにする。</p> <p>□ワークシートに記入し、これからの生活の仕方について目を向けさせるようにする。</p>
高める	<p>■ 教師の説話を話す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師自身の中学校の部活動での経験を話す。</li> </ul>	

#### 5 評価

- ・高橋選手の思いや努力を考え、自分も頑張ろうという気持ちがもてたか。(発言・ワークシート)

## (6) 実践事例（中学校編）

### 第〇学年道徳科学習指導案

日 時 平成〇〇年 〇月 〇日 (〇) 〇校時  
生 徒 〇〇中学校 〇年〇組  
男子〇〇名 女子〇〇名 計〇〇名  
指導者 教 諭 〇〇 〇〇

#### 1 主題名・内容項目

【主 題 名】もしもケータイがなかったら…。

【内容項目】A-1 自主・自律

#### 2 ねらいと教材

【ね ら い】自ら考え、判断し、自分の行動に責任をもとうとする態度を育てる。

【教 材 名】「ケータイ依存」症候群（〇〇出版）

#### 3 教材について

##### (1) ねらいとする価値

コミュニケーションの手段のひとつとして電子メールを活用する生徒が多くいる一方、本質的なコミュニケーションがおろそかになる可能性も少なくない。自らの電子メールの使い方を振り返り、望ましい使い方とはどのようなものなのか、自ら考え、行動に移せるように働きかけたい。

##### (2) 生徒の実態

学級の7～8割の生徒がスマートフォンや携帯電話でメールやラインを活用している。学校として安全指導教室は実施しているものの、SNS上のトラブルを経験した生徒は少なくない。また、電子メールや携帯ゲームに熱中するあまり、家庭学習がおろそかになる生徒もいる。

##### (3) 教材の特性

電子メールで友達と密に連絡をとっていれば安心感を覚える一方、そのようなコミュニケーションに依存するあまり、実際に顔を合わせて行う交流の機会が失われている。実際に顔を合わせてコミュニケーションをとることで身に付く能力と、バーチャルなコミュニケーションに依存することで出てくる弊害について具体的に書かれている。

##### (4) 指導上の留意点

安全指導教室とは別の視点で、携帯電話について考えさせたい。また、電子メールを活用していない2～3割の生徒も具体的に考えられるように留意する。そのため、[考える]段階で具体的なメールの文面について話し合い、人によってとらえ方が異なることを理解させる。

#### 4 本時の学習指導過程

	学習活動 (■) と予想される生徒の反応 (・)	留意点 (□)
導入 5分	■ケータイ依存度チェックをする。	□携帯電話への依存度を知る。(読み物教材の理解につなげる)
展開 15分	<p>■電子メールの文面の印象について考え、話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     次のア～オの中で、印象が良い順番に並べてください。 また、その理由は何ですか。                 </div> <p>選択肢例</p> <p>ア) 今日、遊べなくなりました。ごめんね！ (&gt;__&lt;) また遊ぼう♪</p> <p>イ) 今日、遊べなくなりました。ごめんなさい。 また今度遊んでね。</p> <p>ウ) ごめ～ん！今日、遊べなくなった～。 また今度！よろしく～♪</p> <p>エ) 今日、遊べなくなりました。ごめん (笑) また今度遊んでね。</p> <p>オ) ごめん…。今日、遊べなくなりました m( _ )m また今度遊んでね。</p> <p>・顔文字の意味がわからない。      ・まじめすぎる。 ・(笑) はふざけている。      ・真剣に謝っているのが伝わる。</p>	<p>□生徒の実態に応じて、意見がばらけるような選択肢をつくる。</p> <p>□個人→班→全体、ペア→全体 など学級の実態に応じて話し合う形態を工夫する。</p>
25分	<p>■資料『「ケータイ依存」症候群』を読んで話し合う。</p> <p>○ケータイに依存している主人公について</p> <p>○実際のコミュニケーションの大切さについて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     誘惑に負けず、自分で考え、判断して行動するためには、どんな心構えが必要だと思いますか。                 </div> <p>・まわりに流されないようにすること ・強い気持ちをもつこと ・行動する前にじっくりと考えること</p>	<p>□ケータイ依存とは、どのようなものか想像させる。</p> <p>□メールでやりとりをしたことで、よくない結果になった経験を振り返らせ、実際のコミュニケーションをとることの良さを考えさせる。</p>
高める 5分	■教師の説話を話す。	

#### 5 評価

- ・自ら考え、判断し、自分の行動に責任をもつことの大切さを理解できたか。
- ・自分とのかかわりで、自ら考え、判断し、自分の行動に責任をもつことの大切さを理解できたか。